

「ローン」と「クレジット」の利用法



北陸労働金庫
2022年10月

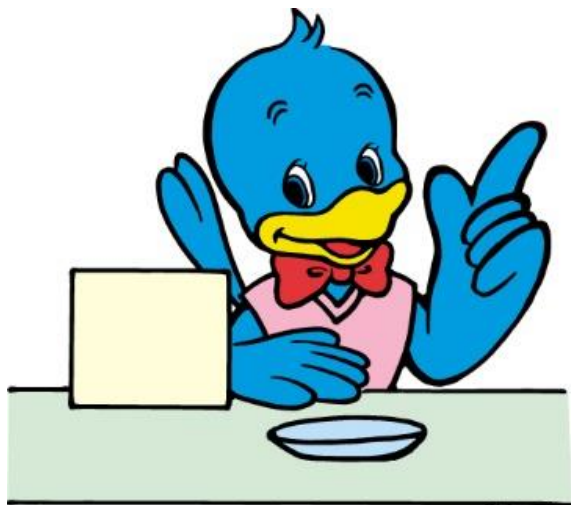
社会生活のいたるところでカードが活用されています。

社会人・大学生になると好むと好まざるとに関わらず、生活の中でカードを使う機会が増えます。

カードの正しい知識を理解して、賢い利用をしましょう。

ローン・クレジットを利用すれば、今手元にお金がなくても欲しいものが手に入りますが、借り過ぎ・使い過ぎには注意が必要です。

1. 「ローン」と「クレジット」について



©ROKIN

(1)「ローン」とは？

①ローンの意味

ローンとは何かを貸すということですが、ふつうはお金を貸すという意味で用いられています。「貸す」ことは立場を変えれば「借りる」こと。ローンは「お金を借りる」という意味でも用いられています。

②ローン契約のしくみ

ローンはお金を貸す者と借りる者との二者間の契約（金銭消費貸借契約）です。お金を借りて、約束の日に決められた額のお金を返していくものです。

③使いみちを限定したローン

「住宅ローン」・「自動車ローン」・「教育ローン」などさまざまな用途に対するローン

④使いみちが自由なローン

「フリーローン」や「カードローン」があります。「カードローン」はあらかじめ決められた利用限度額の範囲内なら、いつでも何回でも借り入れることができます。

(2) 「クレジット」とは？

①クレジットの意味

クレジットとはズバリ「信用」のこと。クレジットは先に商品を買ったりサービスを受け、その代金を後で支払う約束のことです。

②クレジットカードの機能

支払機能……………

「今は、お金がないからカードで支払う」という使い方と、「お金はあるが、多額の現金を持ち歩くのは危ない等の理由でカードで支払う」という使い方があります。

借入れ機能……………

代金を1回で支払うほかに、何回かに分割して支払うことができます。ATMでお金を借りること（キャッシング）もできます。

ID（身分証明）機能…

クレジットの会員であることがカードによって証明されれば、信用できると判断されます。海外でレンタカーを借りる場合、カードがないと借りられないケースがあります

その他の機能……………

カードを提示することで割引を受けたり、利用金額に応じてもらえるポイントを貯めて景品がもらえるサービスがあります。

(3) ローンとクレジットに必要な『信用』

《 ローンやクレジットはお金を借りること 》

信用のある人が持つ4つの C とは？

◆ Character
(人格)

借りたお金は後で返却するという約束を正しく理解し、約束どおり返済する意思があるかどうか。

◆ Capacity
(支払能力)

借りたお金をスムーズに返済していける支払能力があるかどうか。

◆ Capital
(資産)

病気や事故などにより返済が困難な状態に陥った場合でも、これをカバーする資産などがあるかどうか。

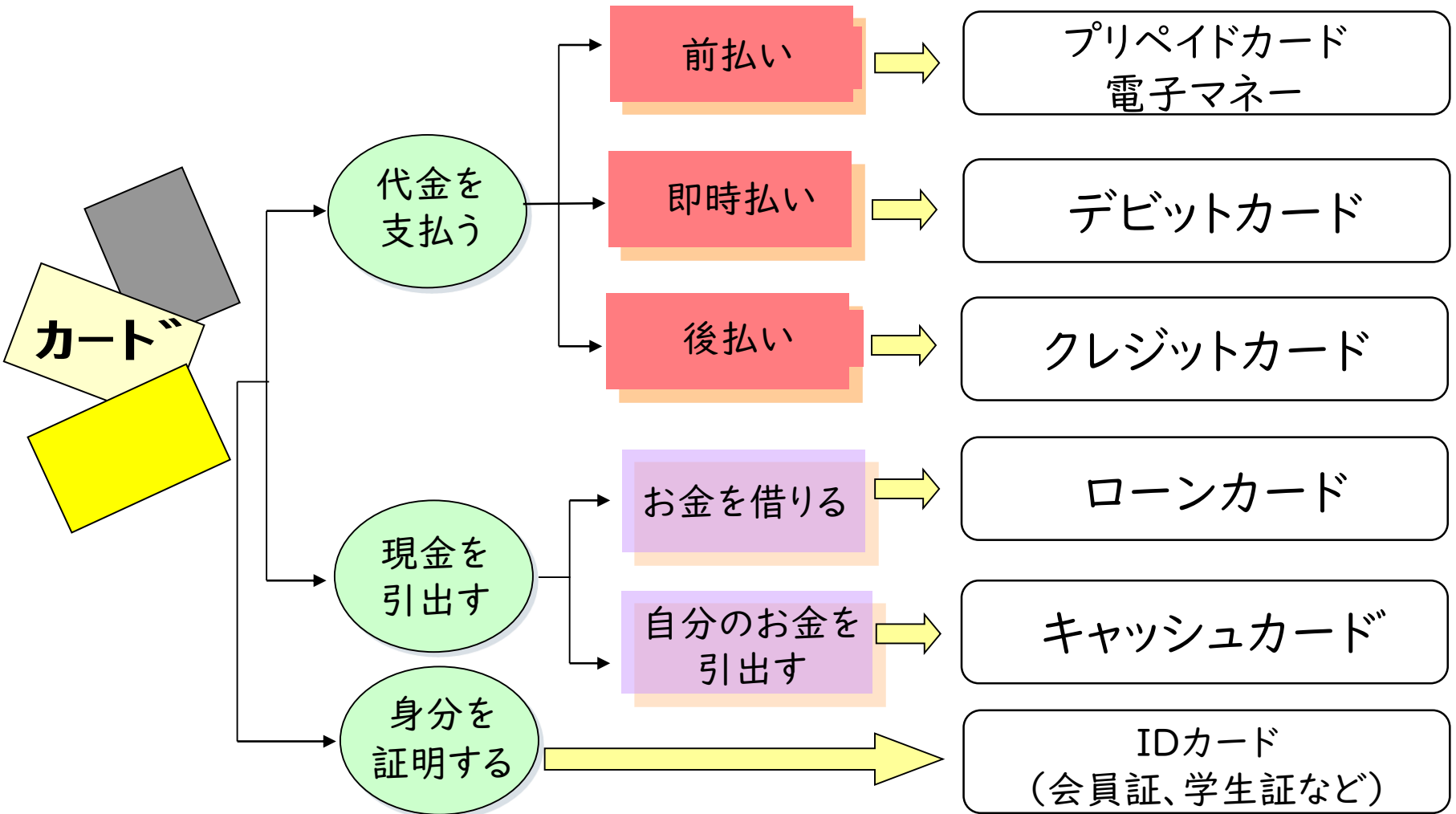
◆ Control
(自己管理)

自分の返済能力の範囲内で計画的に利用し、計画的に返済することができるかどうか。

2. 「クレジットカード」の基礎知識



(1) カードの種類



(注)この図はカードを機能別に分類したものです。デビット(debit)カードは、商品などの代金が即時に自分の銀行口座から引き落としされるしくみのカードです。なお、実際には、一枚のカードでキャッシュカードとデビットカード、キャッシュカードとクレジットカード、クレジットカードとローンカードなど複数の機能をもつものがあります。

(2) クレジットカードの種類

▶ 銀行系カード

銀行等の金融機関が設立したカード会社が発行しているカード。

▶ 銀行が発行するカード

銀行本体で発行しているカード。



▶ 信販系カード

信販会社が発行しており、全国の加盟店で利用できます。

▶ 流通系カード

デパート、スーパー等が発行し、主として自社のグループ内で利用できるカード。

(3) クレジットカードのしくみ

① クレジットの会員になる申込みをします。その際には、代金を支払う口座を指定しておきます。

② クレジット会社は、その人を「信用」できると判断すると、カードを発行します。

クレジットカードは、そのクレジット会社と契約している店(クレジット加盟店)でしか使えません。加盟店かどうかは、お店の入り口やウィンドーに貼ってあるステッカーが目印です。

③ 利用者は加盟店にカードを見せて(提示)、商品やサービスの代金をカードで支払いたいと申し出ます。

④ 加盟店はクレジット会社にCATと呼ばれる端末や電話で利用限度額を超える支払いにならないかなどを照会します。

(※CAT=Credit Authorization Terminal)

⑤ クレジット加盟店は、クレジット会社から支払いの承認を受けます。

⑥ 利用者は売上票にサインし、加盟店に渡します(サインが不要の場合もあります)。

⑦ 加盟店は、売上票とカード裏面のサインが一致していることを確認のうえ、商品・サービスを提供します。

⑧ 加盟店はクレジット会社に売上票を送ります。

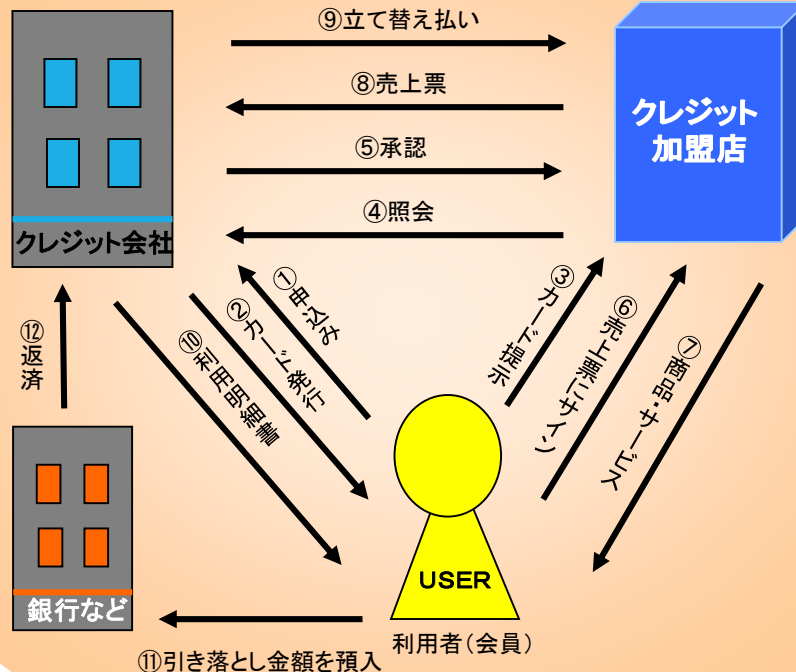
⑨ クレジット加盟店はクレジット会社より支払いを受けます。これは利用者からみると、クレジット会社に立て替え払いをしてもらったことになり、お金を借りたことになります。

⑩ クレジット会社は利用者に利用明細書を送り、請求額を知らせます。

⑪ 利用者(会員)は①で指定した銀行の口座に利用金額を預入します。

⑫ 返済日に自動的に引き落とされ、クレジット会社の口座に入金されます。(これを口座振替といいます。)

これでクレジット会社に立て替えてもらったお金を返済したことになり、決済(貸し借りの関係が最終的に終了)したことになります。



(4) クレジットカードの正しい使い方を知ろう

- ① 支払い回数を複数回にすると手数料がかかる場合があります。
- ② 支払い可能な範囲で利用すること。
- ③ カードを受け取ったら必ず自分でサインすること。
- ④ 利用控えは必ず保管すること。
- ⑤ インターネットでの利用は慎重に。
- ⑥ 解約条件などを確認。
- ⑦ カードは絶対に人に貸さないこと。
- ⑧ 「名義貸し」をしないこと。

※「名義貸し」とは、友人などに頼まれて、あなたの名前で契約すること。

- ⑨ カードの紛失・盗難は直ちにカード会社と警察に届けること。
- ⑩ 暗証暗号は厳重に管理すること。



3.利息のはなし

～お金を借りたら利息を支払う～
これが社会のルールです。



(1) 利息の計算方法を理解しておこう

① お金を借りたら利息を支払う

利息 = ^{がんきん}元金 (借りたお金) × 金利 × 借入期間

※ 利息 = 利子とも言う。元金 = ^{がんぽん}元本とも言う。



② さまざまな金利表示

● ^{ひぶ}日歩 …… 元金 100 円に対する 1 日あたりの利息の額。(○^{せん}銭○^{りん}厘)

● ^{げつり}月利 …… 元金に対する 1 ヶ月あたりの利息の割合。(○%)

● ^{ねんり}年利 (年利率) …… 元金に対する 1 年間の利息の割合。(○%)

③ 年利が基本

金利を考える場合の基本は年利です。日歩や月利で表されている場合は、必ず年利に換算して確かめよう。

例 10万円借りた場合

・金利日歩 5 銭の年利は？

$10\text{万円} \times (0.05\text{円} \div 100\text{円}) \times 365\text{日} = 18,250\text{円}$ ・・・1年後の利息
 $18,250\text{円} \div 10\text{万円} = 0.18252$

※5銭を円に換算すると・・・1円=100銭なので5銭=0.05円

年利18.25%

・金利月利1%の年利は？

単利の場合

$1\% \times 12\text{ヶ月} = 12\%$

年利12%

④金利の上限

金利には「利息制限法」と「出資法」により2つの上限が定められています。

【利息制限法】

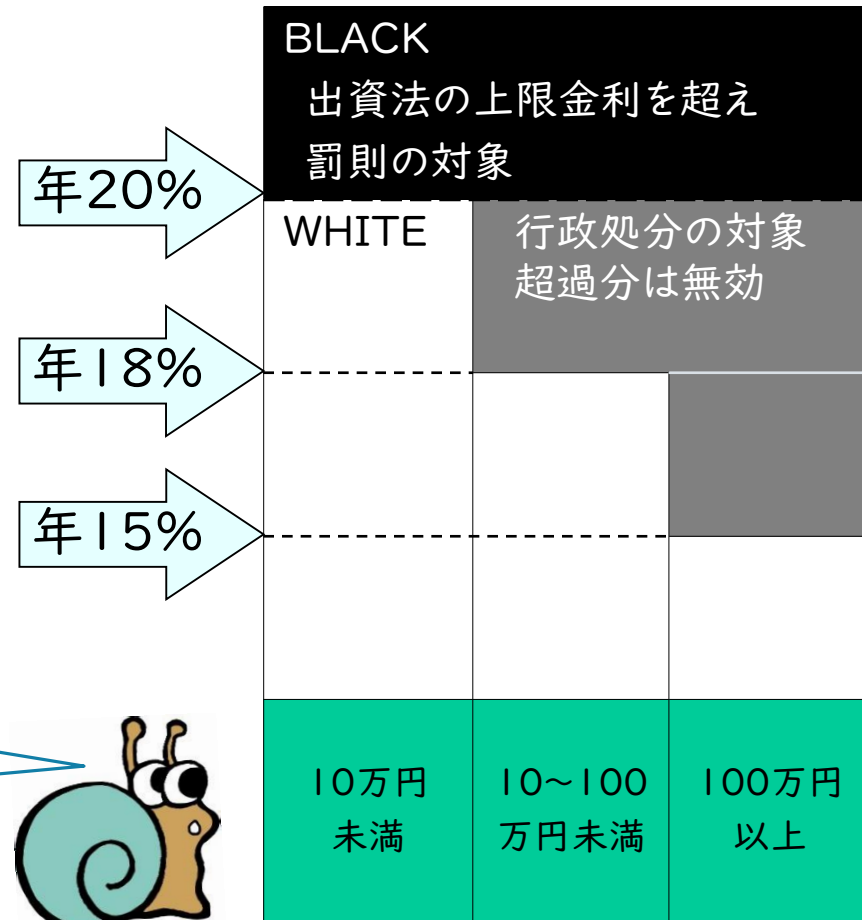
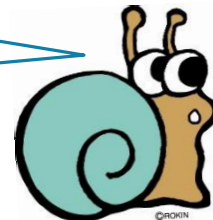
- 貸付利息が有効か無効かの限界を定める法律として「利息制限法」があります。
- 「利息制限法」は金利の最高限度額を下記の通り定めており、これ以上の金利を取ると無効とされます。

- ①元本10万円未満の場合……………年20%
- ②元本10万円以上100万円未満の場合……………年18%
- ③元本100万円以上の場合……………年15%

【出資法】

- 「出資法」は出資金を集めることや高金利に関して規制する法律です。

出資法の上限金利は20%
出資法に違反すると刑事罰があるよ。



4.まとめ

ローンやクレジットを利用してお金を借りるときは、
必ず支払い方法や金利を確認しましょう！

もちろん、便利だからといって使い過ぎには
注意が必要です。



MEMO

